

【高等学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

学校名 佐賀県立唐津工業高等学校

1 前年度 評価結果の概要
 ・コロナ禍により予測不能な学習環境の中、ICT機器を積極的に活用しオンラインによる集会や講演会・授業を積極的に行った。次年度は、さらに効率的により良い教育効果を得られるように実践に励みたい。
 ・「数学会」等による基礎学力の定着の取り組みは一定の効果を得られている。引き続き、生徒の学習意欲や授業に対する興味・関心を高める授業に取り組みたい。
 ・地域貢献・連携は、コロナ禍においても創意工夫し積極的に取り組めた。今後も一層貢献・連携し地域から信頼される学校を更に築き上げていきたい。
 ・生徒指導は、各科と各学年の連携を密にしながら全職員で情熱を持って指導に当たることにより、生活全般における規範意識の醸成に取り組んだ。学校独自の取り組みである、ヒューマントレーニングの教育的効果は道徳心の育成やマナーの醸成に繋がっており、さらなる向上を目指し実践し続けた。
 ・本校において部活動とものづくりの教育的効果は大きなものがある。生徒の人間力醸成のため引き続き、高い目標をもって取り組んでいきたい。

2 学校教育目標
 21世紀を担う心身ともに健康でたくましく知徳体の調和のとれた視野の広い工業や社会の発展に貢献できる人材を育成する
 ☆「起(た)て」「察(み)よ」「邁(ゆ)け」を礎とした自立型人間の育成
 (学校経営ビジョン)
 「ものづくりによる人づくり」「部活動による人づくり」を柱として生徒が入学して良かった、保護者が入学させて良かったと思う学校づくり

3 本年度の重点目標
 ① 全ての生徒が安心して学習ができ安全に生活できる学校 ④ 生徒に夢を持たせ夢を育み夢の実現に向けて歩ませ全力でサポートする学校
 ② 地域に根ざし保護者や地域との協力連携を深め信頼される学校 ⑤ 必要な常識・規範意識・道徳心・基礎的な知識・技術を身につけさせる学校
 ③ 生徒は真剣な態度で授業を受け教師はわかる授業を実践する学校

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	◎基礎学力の定着と夢の実現(志を高める教育)	◎(学校独自成果指標) ◎生徒に確かな基礎学力を身につかせ進路実現100%を達成する。	・学力向上のために「数学会」(学び直しの時間)や各種小テストを定期的実施し、生徒の基礎学力定着を図る。 ・生徒の「学びを止めないために、リモート授業の実施に取り組む」 ・生徒一人ひとりが自らの将来について考え、希望する進路が実現できるよう、生徒・保護者の進路希望を踏まえうえで個々に応じた学習指導や進路相談、適切な情報を提供する。			
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○規範意識、公共モラル・マナーの向上、自他の生命尊重など、人格形成の一助となることを目指す。 ○「地域に愛される学校」を目指し、地域ボランティアへの積極的な参加(年間合計100名以上)を目指す。 ○ものづくりによる「地域連携・貢献」を行い、豊かな心を身に付けることを目指す。	・規範意識や道徳心の向上のため、本校独自の取組である「ヒューマントレーニング」を年間13回行い、公共モラルやSNSの問題等に真摯に向き合い、自ら考えて行動できるようにする。 ・部活動を活性化させるため、1年生の全員入部を促進し部活動による人づくりを図る。 ・「地域連携・貢献」活動に積極的に参加し他者に対する思いやりや心や社会性、倫理観や正義感、感動する心などを醸成させる。							
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 ○自らの健康に気を付け、問題を改善しようとする態度や実践力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒90%以上 ○朝食をとって登校する生徒80%以上 ○健康診断後の受診率の向上を図る。(受診率30%以上を目指す) ○インフルエンザ等の感染症による学級閉鎖「0」。 ○新型コロナウイルス感染症のクラスター発生「0」。	・生活習慣アンケート及び食に関する意識調査、健康状況調査を実施し、健康に関する意識付けを行う。 ・保健だよりや掲示物等を活用し、健康に関する情報に触れる機会を設け、心身の健康を保持増進するための態度を養う。 ・担任・部活動の顧問と連携し、異常があれば改善・回復するための行動が取れるようにする。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤推進日と月1回の完全退勤日を設定し、業務量の平準化、ムダの排除および効率よい業務の遂行をできるように意識改革を行う。 ・会議時間の設定や資料の事前配付により業務の効率化を図る。							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○特別活動	○部活動による人づくり	○部活動参加率90%を目指す。 ○部室等の公共施設の利用を通し、マナーモラルの向上を身につける。	・集会、個人面談等を利用し部活動の教育的効果、人格形成に対する効果等を説明し入部を奨励する。 ・部室点検を行い、部室の整理整頓を頻繁に行う。			
★地域連携活動	○地域活動への協力・協働・参加 ○相互間の信頼関係の構築	○唐津地区のイベント等に可能な限り、参加・協力する。	・イベント等に参加・協力するうえで、日頃の学習成果を試す場とし、生徒たちの達成感と自己肯定感を高める。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・次年度への展望